



TEAM SUPPORT

Tsuka Dental Clinic

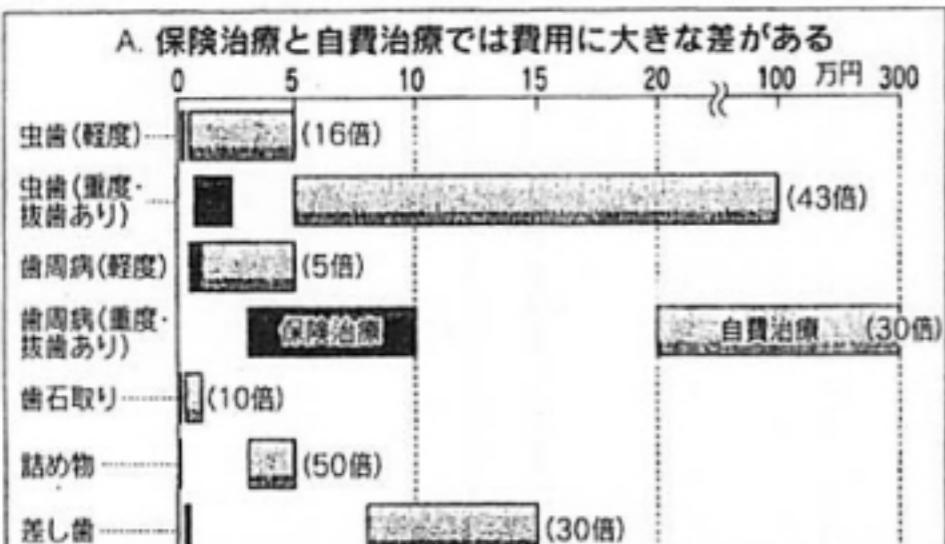
日本経済新聞 2008.10.12

日本経済新報

2008年(平成20年)10月12日(日曜日)

日本経済新報

くらし安心



## B. 歯が1本抜けた時の対処法

選択肢	対処法	自費治療の場合の金額の目安	機能・見栄えの向上度・治療費
1	何もしない	0円	低い
2	1本義歯を入れる	10万円	
3	「接着ブリッジ」を選ぶ (両隣の歯を削り上げたにして3つの歯にかぶせ物をする、ブリッジより削る量が少ない)	15万円~	
4	「ブリッジ」を選ぶ (両隣の歯を削り上げたにして、3つの歯にかぶせ物をする)	25万円~	
5	「インプラント(人工歯根)」を選ぶ (人工で歯根を作り、その上に人工歯を入れる)	44万円~	高い

(注)金額の目安は東京クリニック丸の内オアゾンの場合。選択肢2~4は保険治療を受けることも可能

あらかじめ計画を立てて購入する住宅や自動車と異なり、不意な出費となることが多い歯科治療費。自費治療にすると、費用が数百万円に達することもあり、有利に資金の手当てが大切だ。FPのハツ井さんは「ローンを利用する前に、とりあえずみるのがよい」と話す。まず検討したいのが、クレジットカードを利用すれば、手数料をかねてみるのもいいが、可能で、当座は資金に余裕がない場合は、手数料をかねてみる方がいい」と話す。

## 自費負担分の資金どうする?

D. 自費治療で当座の資金が足りない場合は
①クレジットカードを利用する
▪ボーナス一括払い、2回の分割払いにすれば手数料はかからない
②銀行の総合口座の自動融資(総合口座貸越)を利用する
▪定期預金残高を担保に低利で融資を受けられる
③各種ローンを活用する
▪信販会社のデンタルローンや銀行の多目的ローンを使う
▪ローンの中には利息は歯医者が負担するケースもある

(注)ハツ井慶子さんの話を基に作成

## ローン扱う歯科医院も

られる。ただカードを使える歯科医は増えてきたとはいえ、まだ全体の二三割にとどまる。

で借りられるのが利点(八井さん)という。

会社と契約しデンタルロー

の利用を検討する場合には、あらかじめ病院に問い合わせておくのが良い

悩み方が、治療法の選び方だ。使用する材料や手間のかけ方などでかかる費用は大きく違ってくるが、自分に最適な治療法を選ぶのは予想以上に難しい。歯科医から治療内容の情報を入手し、予算と折り合いのつくり範囲内で賢く治療を受けることが重要だ。

健康保険を使って安く済ませるか、自腹を切ってでも高額の治療を受けるか——。歯科医にかかると必ず悩むのが、治療法の選び方だ。使用する材料や手間のかけ方などでかかる費用は大きく違ってくるが、自分に最適な治療法を選ぶのは予想以上に難しい。歯科医から治療内容の情報を入手し、予算と折り合いのつくり範囲内で賢く治療を受けることが重要だ。

負担額50倍の差も

ファインシャルプランナー(FP)のハツ井慶子さんが、友人から紹介を受けた歯科医院に足を運んだのは2006年のこと。以前に治療した歯が黒ずんだため再度、治療してもらうことが目的だった。

保険適用外の差し歎を入れることも覚悟していたが、診察の結果、歯科医の口から出た言葉は「(保険が利く)漂白にしますよ」。それで治療は十分か不安になったハツ井さんは診察イスの上で説明を求めた。結局、複数の治療法の利点、欠点をすべて確認した上で、その歯科医の方針を選ぶのは簡単ではない。歯科の知識が少ないと判断が難しいと強く感じた」とハツ井さんは話す。

## 保険か

## ■軽い症状・予防的な処置に



歯科では治療方針を詳しく聞くことが肝心(東京・千代田の歯科)

## C. 治療内容で保険治療か自費治療かを選ぶと…

## 保険治療でかなりの効果が期待できる

- ・軽度の知覚過敏の治療
- ・軽度の虫歯治療
- ・入れ歯
- ・フッ素塗布(虫歯予防)
- ・歯石取り
- ・歯の根元部分の歯石取り

## 余裕があれば自費治療の方がよい

- ・前歯の差し歎
- ・歯の土台の治療
- ・歯の神経の治療

(注)田尾耕太郎さんの話などを基に作成。個人差があり最終的な治療方法の決定には歯科医の判断を聞く必要がある

## 歯の治療

## 材料など費用に大きな差

## 白費か

## ■高い機能回復望むなら

健康保険の適用を受ける範囲の治療にとどめるか、保険の適用を受けない自費治療にするか、患者が判断を求める。健康保険が適用されれば、患者は三割負担で済むが、自費を選ぶと、費用は全額患者が負担しなければならない。どちらかの治療しか扱わない歯科医は、治療方針を決めなければならぬ場合もある。

グラフAに、治療内容別に費用を記した。虫歯治療の後などに行う詰め物の費用の差を記した。虫歯治療の費用は、自費治療の負担額は保険が適用される場合の五十倍(それぞれの最高額)に達する。重度の歯周病でも差は三十倍と大きい。差が大きい理由は、治療で使用する材料が異なるほか、治療時間の长短で

は保険が適用される場合の五十倍(それぞれの最高額)に達する。重度の歯周病でも差は三十倍と大きい。差が大きい理由は、治療で使用する材料が異なるほか、治療時間の长短で

は保険が適用される場合の五十倍(それぞれの最高額)に達する。重度の歯周病でも差は三十倍と大きい。差が大きい理由は、治療で使用する材料が異なるほか、治療時間の长短で

は保険が適用される場合の五十倍(それぞれの最高額)に達する。重度の歯周病でも差は三十倍と大きい。差が大きい理由は、治療で使用する材料が異なるほか、治療時間の长短で

## 医師に説明求め 治療方法を確認

治療法の選び方で機能回復度にどれだけ差が出るかは、治療内容ごとに異なる。あまり差がないなら、負担も選択肢の一つ。逆に自費治療の方が飛躍的に機能回復できる分野もある。

表Cは保険治療でもかなりの効果が期待できるものと、逆に余裕があれば自費

治療法とその効果、費用が明らかになれば、後は患者が自らの予算を頭に入れ、どの水準まで歯の機能回復、生活の質の向上を目指すかを決める。「自費診療法を選ぶ上で重要なのは『自分が取り得るすべての方法を歯科医から聞き出すこと』(ハツ井さん)だ。歯科はその専門性の高さから、手間暇がかけられる方が良いの

は当然」と指摘する。

治療法を選ぶ上で重要なのは「自分が取り得るすべての方法を歯科医から聞き出すこと」(ハツ井さん)だ。歯科はその専門性の高さから、手間暇がかけられる方が良いの